

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成23年2月15日)

項 目	ページ
1 鳥取和牛新ブランド発表会の開催について	
	【畜産課】…………… 別紙
2 第64回全国植樹祭木製ベンチ製作企画コンペティションの審査結果について	
	【森林・林業総室】…………… //
3 白砂青松復活ボランティア活動の実施について	
	【森林・林業総室】…………… 1
4 雪によるハウス倒壊防止のための事前対策現地研修会の開催について	
	【農林総合研究所】…………… 2
5 食のみやこ鳥取県「とろはた」美味しさセミナーの開催について	
	【食のみやこ推進課】…………… 3

農 林 水 産 部

白砂青松復活ボランティア活動の実施について

平成23年2月15日
森林・林業総室

年末年始の記録的な豪雪により被害を受けた、「弓ヶ浜半島」と「鳥取砂丘」のマツ林の枝払いやチップ化、植栽ボランティア活動を2月～4月に行います。

第1回目として下記のとおり「弓ヶ浜半島」と「鳥取砂丘」で同日開催します。

記

- 1 日 時 平成23年2月19日(土) 午前9時半 ～ 午後2時半
平成23年2月20日(日) 午前9時半 ～ 午後2時半
- 2 募集期間 2月2日(水)～2月14日(月)
- 3 人数と対象者 募集人員(中学生以上)一箇所100人/日(2日間で200人)
スタッフ(地元市・県職員)一箇所 20人/日(2日間で 40人)
- 4 作業内容 雪折れしたマツの枝払いと林内集積。チップパー機による破碎。

5 2月19日、20日の計画の詳細

区分	弓ヶ浜半島 (A)	鳥取砂丘 (B)
集合場所	美保湾展望駐車場	オアシス広場
作業場所	境港市佐斐神町 (2/19、20)	福部町湯山(2/19)(オアシス広場周辺) 福部町海士(2/20)(ふくべふれあいランド 西側)
送迎バス	西部総合事務所駐車場～JR 米子駅～米子空港～会場	東部総合事務所～JR鳥取駅～県庁～会場

6 PR状況

- 県庁HP、FM山陰、山陰放送で繰り返し放送中(2/4～2/14)。
- 県のツイッターで情報を自動配信(2, 771名)。
- 林政ニュース(全国版2月9日掲載)、J-FICニュース(メールマガジン)で配信。
- 募集案内を東京本部、食のみやこ鳥取プラザ、関西本部、名古屋本部に設置。
- 「とっとり共生の森」参画企業14社、山崎製パン(株)等、県内外企業に情報発信。
- 「森林を守ろう!山陰ネットワーク会議」を通じて、山陰両県のNPO団体に情報発信。

(参考) 全体スケジュール

場 所	2月19日、20日	3月5日、6日	4月
弓ヶ浜半島 (A)	枝払い、チップ化 19日、20日	枝払い、チップ化 5日、6日	植栽作業 2日間(未定)
鳥取砂丘 (B)	枝払い、チップ化 19日、20日		

※ 2月19～20日の経費については、現計予算内対応とする。

※ 3月以降の経費については、2月補正予算の対応とする。

雪によるハウス倒壊防止のための事前対策現地研修会の開催について

平成23年2月15日
農林総合研究所

昨年12月31日からの豪雪によって西部地域を中心に農業用ハウスが多数倒壊する被害が発生しました。降雪状況によっては更に被害が発生する恐れもあり、ハウスの補強など倒壊を未然に防ぐ対策を実施することが重要であるため、パイプや間伐材等を用いたハウス倒壊防止のための現地研修会を開催しました。

1 主催

全国農業協同組合鳥取県本部、鳥取県農林水産部

2 開催日時及び場所

【西部地区】平成23年2月4日（金）西伯郡大山町 現地ハウス

【中部地区】平成23年2月8日（火）東伯郡琴浦町 現地ハウス

【東部地区】平成23年2月8日（火）鳥取市国府町 現地ハウス

3 参加者

各地区の野菜・花き生産者、農協、総合事務所農林局など関係機関

4 研修内容

(1) ハウスへの雪害状況現地調査結果報告

○雪の重みに加え、パイプの直径が小さいこと、ハウスが古くパイプの地際が腐食していたこと、中柱や筋交いがなかったことなどが倒壊の原因と推定

○倒壊を免れたハウスは、中柱で天井部を支えることにより補強

(2) 雪によるハウス倒壊防止のための補強方法デモンストレーション

○間伐材を支柱に使った突き上げ補強の方法

○鉄パイプ補強による上や横からの圧力をしのぐ方法 など

(3) ハウス復旧のための支援対策の説明

5 今後の取り組み

対策技術を現場で周知・普及させるとともに、次の降雪シーズン前に事前対策研修を実施

<研修会（西部会場）の様子>



間伐材での補強



鋼管支柱での補強

食のみやこ鳥取県「とろはた」美味しさセミナーの開催について

平成23年2月15日

食のみやこ推進課

東京築地市場に出荷されている干しハタハタの約3割は鳥取県産が占めています。東京築地市場の関係者を対象に鳥取県産ハタハタの美味しさをもっと知ってもらい、鳥取県産ハタハタのブランド化と販路拡大を目的に以下のセミナーを開催します。

1 セミナーの概要

(1) 日時 2月26日(土) 午後1時～3時

(2) 場所 東京築地市場水産物部 東京都講堂
東京都中央区築地5丁目2番1号 水産物部本館3階

(3) 内容 食のみやこ鳥取県「とろはた」美味しさセミナー

I部 ①鳥取県水産業の紹介

②鳥取県産ハタハタの美味しさの秘密報告

③新ブランド名「とろはた」の紹介

II部 ①参加企業による商品紹介(5社)

・参加企業(株)大海 (境港市)

中村商店(株)、(株)マルワフーズ渡辺水産(鳥取市)

(株)日本海フーズ、トウエ(株) (岩美町)

②ハタハタ料理の試食

ハタハタ寿司、焼きハタハタ、煮付け、刺身、握り寿司

*試食の合間に鳥取県で開催される第31回全国豊かな海づくり大会等のPRを実施。

③意見交換

(4) 参集範囲

築地市場関係者(仲買業者、仲卸業者等)及びマスコミ関係者 約250人

(5) 主催 鳥取県

(6) 後援 NPO法人築地魚市場銀鱗会

2 鳥取県産ハタハタの新ブランド「とろはた」の概要

○鳥取県産魚PR推進協議会(事務局:鳥取県漁業協同組合)では、大きさ20cm以上の大型のハタハタを「とろはた」と命名し(H22年10月)、ブランド化を進めている。

○鳥取県産の全長20cm以上のハタハタは、脂質含有量が年間を通じて10%以上あり、東北産に比べ含有量が多い。(脂質含有量が10%以上になると一般的に美味しいと感じます。)

○鳥取県ではハタハタが多く漁獲され(H21年:約1,200トン)、この内、約5%が「とろはた」に該当。

○今春から生産者は出荷発泡スチロール箱に「とろはた」シールを付けて出荷予定。

